

|        |       |      |  |    |  |
|--------|-------|------|--|----|--|
| 校種・教科等 | 高校・看護 | 受審番号 |  | 氏名 |  |
|--------|-------|------|--|----|--|

## 『看護科模擬授業課題』

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1組教室

(3) 学年・学級 第1学年1組(30名)

使用教科書( 高等学校用 基礎看護 文部科学省 )

副教材 ( 看護学入門6 基礎看護学Ⅱ メディカルフレンド社 )

(4) 単 元 名 第2章 日常生活と看護 第4節 活動・運動の援助 (文部科学省)

(5) 指導する児童(生徒)の状況

## 【既習事項】

活動・運動の援助を学習するために必要な内容については学習済み(人体の機能と構造、基礎看護(日常生活の理解、環境調整、食事と栄養、排泄の援助、休息と睡眠))。

## 【単元のねらい】

活動や運動が健康に及ぼす影響、ボディメカニクスの原理について理解するとともに、安全・安楽な移動と移送の方法に関する知識と技術を身に付ける。

## 【児童(生徒)の状況】

看護に対し興味関心はあるが、学習に対する取り組みや理解力において生徒間で差がみられる。また、日常生活体験が少なく、イメージする力が乏しいので技術の習得には時間を要する。

## (6) 指導計画(全6時間)

| 次(時数)               | 学習内容                                                                                                  | 活動・指導形態             | 評価計画                      |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------------------------|
| 第1次(1時間)            | 【移動の意義と目的】<br>・日常生活活動における移動の意義を考える。                                                                   | 一斉<br>個別<br>ペアワーク   | 思考・判断・表現                  |
| 第2次(1時間)            | 【車椅子への移乗・移送の目的・留意点と手順】<br>・安全に移乗・移送を行う手順を原理・原則に基づいて理解する。<br><b>(1時間 本時)</b><br>教科書p. 78 副教材p. 170～174 | 一斉<br>個別<br>ペアワーク   | 知識・技術                     |
| 第3次(1時間)            | 【ストレッチャーへの移乗・移送の目的・留意点と手順】<br>・安全に移乗・移送を行う手順を原理・原則に基づいて理解する。                                          | 一斉<br>個別<br>ペアワーク   | 知識・技術                     |
| 第4次(3時間)<br>(実習3時間) | 【車椅子、ストレッチャーによる移乗・移送の方法】<br>・安全・安楽に移乗・移送を行う方法を身に付ける。(実習1時間)                                           | 一斉<br>個別<br>ペアワーク   | 知識・技術                     |
|                     | ・患者、看護師の役割を通しての学びをまとめ、考えを表現する。(実習2時間)                                                                 | 一斉<br>個別<br>グループワーク | 主体的に学習に取り組む態度<br>思考・判断・表現 |

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。